

**シリーズ B ラウンド前半として、  
新たに 19.2 億円の資金調達を実施**  
既存株主による追加出資、大手電力会社や官民ファンド等も新規参画

パワーエックス株式会社

株式会社パワーエックス（本社：東京都港区、代表：取締役兼代表執行役社長 CEO 伊藤 正裕）は、この度、成長フェーズにおける重要な投資ラウンドであるシリーズ B ラウンドの前半として 19.2 億円に及ぶ資金調達契約を締結しました。

この資金調達は、昨年のシリーズ A ラウンドのリード投資家と新たに参画する投資家を割当先とする第三者割当増資によるものです。これにより、当社の累計資金調達額は約 125.5 億円となりました。

こうした結果を当社および当社事業に対する大きな期待によるものと認識し、自然エネルギーの爆発的普及の実現に向け、蓄電、送電技術の進化に向けた新規事業の展開に邁進していきます。

### 1. 今回の資金調達に参画した投資家

#### (1) シリーズ A ラウンドからの追加投資

- Spiral Capital 株式会社
- 日本瓦斯株式会社

#### (2) シリーズ B ラウンドでの新規投資

- センコーグループホールディングス株式会社
- 株式会社脱炭素化支援機構
- 東北電力株式会社
- その他、事業会社 1 社

### 2. 今回の調達資金の用途

本ラウンド前半で調達した資金は、蓄電池製品の研究開発や、岡山県玉野市に建設中の国内最大級規模の蓄電池工場「Power Base」の設置費用などに充てられる予定です。

### 3. 当社事業の進捗と今後の見通し

- (1). 今年 4 月には蓄電池型超急速 EV 充電器『Hypercharger』の製造を担う、徳島の提携工場が試験稼働を開始しました。
- (2). 東京・青山に『Hypercharger』の試験機を設置しました。現在、この充電器は当社の社員や関係者が日常的に使用しており、まもなく一般の EV オーナーによるテスト利用を開始予定

定です。当事業は、今夏の本格的なサービス開始を予定しており、都内を中心に年内に10拠点を開設する計画です。

- (3). 当社の完全子会社として岡山県玉野市に蓄電池関連製品の製造を担う株式会社 PowerX Manufacturing (PXM) を設立しました。今後、同社は蓄電池製造事業の成長拡大とともに、地元での雇用創出を進めていきます。
- (4). 一方、岡山県玉野市に建設を進める蓄電池組み立て工場「Power Base」については、予定通り今年8月に製造棟が竣工する予定であり、その後、製造設備の導入などを進め、年内の試験稼働開始を目指しています。また、製造ラインのさらなる最適化の結果として、将来的に同工場の蓄電池モジュール製造能力を年間10GWhまでに拡大する計画です。
- (5). 蓄電池販売については、昨年からの先行予約を受けて正式注文の案内を進めており、既報のとおり、マルチテナント型物流施設「プロロジスパーク草加」への定置用蓄電池の導入、日本瓦斯株式会社の営業所への蓄電池型超急速充電器の導入が正式に決定しました。

#### 【今回の資金調達に参画した投資家のコメント】

##### ▪ Spiral Capital 株式会社 代表パートナー 奥野 友和

「シリーズ A 以降のパワーエックスの事業進捗は、日本におけるカーボンニュートラルの実現可能性、およびそれに向けてスタートアップが果たし得る役割の大きさについて、極めて明るい展望を示すものです。シリーズ A の際に提示されたマイルストーンは全て達成され、あらゆる面において想像を超える急成長を実現しています。パワーエックスへの期待は確信へと変わりました。今後のパワーエックスの快進撃を心から楽しみにしています。」

##### ▪ 日本瓦斯株式会社 代表取締役社長執行役員 柏谷 邦彦

「シリーズ A に引き続き、近未来のエネルギー・ソリューションに挑戦するパワーエックスとの協業・提携が深化できること、とても光栄です。再生可能エネルギー、脱炭素の流れ、エネルギー調達不安定化が進む中、AI が主導する分散型エネルギーインフラを普及させ、地域コミュニティのエネルギー利用の最適化を実現することで、共に社会課題の解決を推進していくこと、大変楽しみにしています。」

##### ▪ 株式会社脱炭素化支援機構 取締役専務執行役員 上田 嘉紀

「再生可能エネルギー普及に資する大型蓄電池や超急速 EV 充電用蓄電池の製造・販売を手掛け、革新的なサービスを展開しようとするパワーエックス社に出資参画できることを大変喜ばしく思います。今後、パワーエックス社の事業が拡大し、地域が発展するとともに、普及する蓄電池が社会インフラの一つとなっていくことで、よりレジリエントな社会につながっていくことを期待しています。脱炭素化支援機構は、2050 年カーボンニュートラルの実現に向けて、脱炭素に資する多様な事業への呼び水となる資金供給を積極的に行っていきます。」

■ 東北電力株式会社 執行役員 事業創出部門長 和田 浩文

「カーボンニュートラルの潮流において、再生可能エネルギーのポテンシャルを十分に引き出すために、蓄電池システムは益々重要なデバイスとなります。東北電力グループとしても、パワーエックスの描くビジョンに大きな感銘を受けるとともに、同じエネルギー業界に身を置くものとして、共に歩み、さらなるイノベーションと成長を遂げていけることを期待しています。」

【 当社取締役兼代表執行役社長 CEO 伊藤 正裕のコメント 】

「このたび、既存株主の皆さま、私たちのビジョンに共感いただいた新たな投資家の皆さまからのご支援を受けて、資金を調達することができました。ご支援に対して深い感謝の意を表明いたします。おかげをもちまして、工場の立ち上げは予定どおり順調に進んでいます。また、蓄電池の正式受注についても一段と力を入れており、順調に進捗しています。これらの蓄電池製品の出荷と EV チャージステーション事業の始動に向けた歩みは、これからさらに加速させていきます。今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。」

【 株式会社パワーエックスについて 】

会社名	株式会社パワーエックス (PowerX, Inc.)
設 立	2021 年 3 月 22 日
代 表	取締役兼代表執行役社長 CEO 伊藤 正裕
本社所在地	東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウンタワー43 階
事業内容	大型蓄電池の製造・販売、EV チャージステーションのサービス展開、および電気運搬船の開発・製造
URL	<a href="http://power-x.jp/">http://power-x.jp/</a>

【 本件に関する報道関係のお問合せ先 】

株式会社パワーエックス 社長室 広報担当：大津

電話：050-1754-0205, メールアドレス：[pr@power-x.jp](mailto:pr@power-x.jp)

※当プレスリリースはパワーエックス事業に関する情報提供のみを目的とするものであり、金商法上の有価証券の勧誘行為を行うものではありません。